



11. 投資で日本が進化する!?

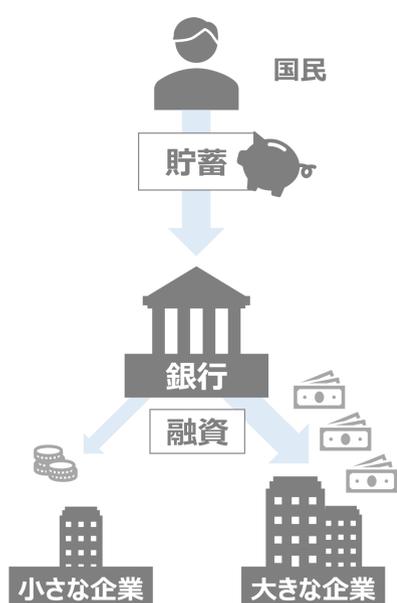
—株式投資の可能性について

日本人は貯蓄好きな国民である」とよく唱えられます。
よく働き、コツコツとお金を貯める。そのお金の多くは銀行に預金され、銀行はそのお金を会社に貸し付ける。お金を借りた会社は、大きな仕事を行い利益をドンドン上げていく。

第二次世界大戦後の「高度経済成長」といわれた時代では、これがとてもうまくいき、人々のお金が銀行を通じて大企業に回され、大きく発展しました。

逆に、新しくできた実績のない会社は、銀行からなかなかお金を貸してもらえず、活躍するチャンスが少なかったともいえます。

新しい時代の扉を開けるためには、新しい企業にもしっかりとお金を回し、新しい産業を切り開き、企業を育てることが必要なのです。

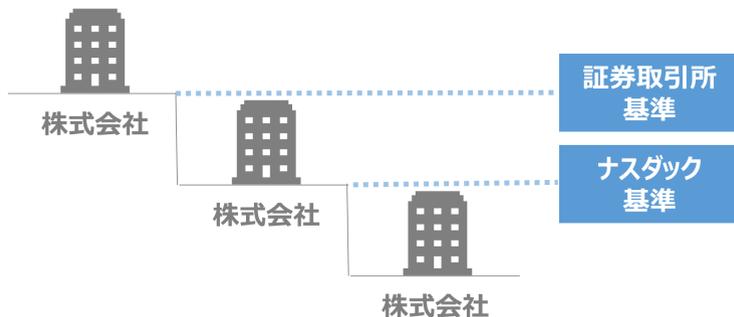


ベンチャー企業とNASDAQ

米国では、世界トップクラスのIT企業であるDellやGoogle、Facebook、さらには優秀な高校生や大学生がつくったという企業もたくさん存在します。

このように、優れた技術や革新的な発想を武器にして、新しい産業を切り開こうとしている企業を「ベンチャー企業」と呼びます。

米国では「NASDAQ（ナスダック）」のように、ベンチャー企業の株式も手軽に買えるような仕組みが整備されています。



NASDAQで取引される株式は、証券取引所ほど厳しい審査をクリアしたわけでは無いため、なかには経営状態のよくないものが混ざっている可能性もあります。

しかし、NASDAQのおかげで、未来を切り開く開拓者のような企業がたくさん成長し、アメリカ経済をリードするような大きな存在になっていきました。

こうした考え方に立って、日本でもベンチャー企業の株式を買えるようなしくみを整備して、世の中の人々から広くお金を集められる株式市場がつけられました。

これを「新興市場」といいます。例えば、東京証券取引所に置かれている「マザーズ」や「JASDAQ（ジャスダック）」などがあります。

企業を見極める目が日本経済を変えていく

新しいタイプの株式市場が生まれ、株式が上場されただけでは、企業が育ちません。

投資する側が株式投資への意義を認識して、企業を見る目を養っていかなければいけません。

適切な判断で株式投資ができるようになれば、日本の経済・産業の構造をよりよい方向へ動かせるはずです。

「本当に社会から必要とされるのはどんな企業か？」
「これから成長していくのはどんな分野のどんな企業か？」
こういうことをしっかりと見極める。
そして期待に応えてくれそうな企業の株式に投資していく。
適切な株式投資が増えていけば、企業は今まで以上に努力し、株式と株主の重要性を認識する。

こうしていく中で、優秀な企業が少しずつ育ち、これからの日本経済を引っ張っていくような新しい産業も生まれていくはずですよ。



魔弾の結論



POINT 01 投資する側が **しっかりと企業を見極めることが重要!**

- ▶ 社会から必要とされるのはどんな企業か?
- ▶ これから成長していくのは、どんな分野のどんな企業か?

POINT 02 適切な株式投資が **日本経済を引っ張る新しい産業・企業を育てる**

期待に応えてくれそうな企業に投資することで優秀な企業が少しずつ育っていく

